

令和5年度 三島市介護認定審査会委員連絡会議事録

- 1 日 時 令和5年11月29日（水） 午後7時00分～午後8時20分
- 2 場 所 市役所本館2階 第2会議室
- 3 出席者 委 員 9名
事務局 4名
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人 0名
- 6 会議の内容

(1) 課長挨拶

(2) 報告・検討事項

① 認定状況等について

ア 令和5年度4月から9月末まで

[事務局説明]

申請状況、認定状況、一次判定から二次判定の介護度変更割合、更新認定における介護度の前回と最終介護度の変更状況、9月末における認定者数等について

・総申請数 2,531 人で 217 人増。昨年度と比べ、区分変更は 13 人減だが、更新申請 153 人、新規申請 24 人、支援からの変更申請 15 人それぞれ増加している。

・要介護認定審査会の審査判定件数

内訳：認定 2,157 件（認定済み転入 24 件外を含）

却下 18 件 生活保護者（第 2 号）1 件

・重度変更の割合は9.4%。軽度変更の割合は0.1%

一次判定から二次判定において重度変更した根拠項目順位

1 主治医意見書 5 特記すべき事項(R4:2位)

2 2-5 排尿(R4:1位) 3 2-2 移動(R4:4位)

4 2-6 排便(R4:5位) 5 4群全体(R4:3位)

・認定者数5,016人

高齢化率30.4%(R4:30.1)年々増加傾向。認定率15.5%(R4:15.7)

イ 令和5年度要介護認定適正化事業(業務分析データ)について

[事務局説明]

令和4年4月1日以降申請から令和4年9月末までに認定支援ネットワークに送信されたデータを、基礎情報と審査判定データとして全国値とともに表示したもの。

・高齢化率は29.9%。国より1.4%高いが、県より0.2%低い。認定率は、国、県より低い。

- ・意見書、調査、認定にかかる期間では、主治医意見書入手までが20.1日、調査までの期間が、7.1日、認定までの期間が36.4日。国、県と比べ、主治医意見書に日数がかかっているが、調査までの日数は短く、認定までの期間が短縮できたと考えられる。
- ・一次判定、二次判定の結果とも、三島市は、要支援1、要介護1・4の割合が高い。
- ・一次判定から二次判定への重度変更と軽度変更について、重度変更は6.3%と全国8.7%より低く、県5.9%より上回っている。三島市では介護の手間がかかっているかどうかの判断材料を拾いやすくするため、調査特記事項をできるだけ詳しく記載するよう指導している。また、主治医の先生方にも主治医意見書の特記事項に詳しく介護の手間の状況等を記載していただくことが重要。
- ・軽度変更については、三島市ではほぼ行われていないが県、国、ともに要支援2、要介護2・4・5からの変更が多く見られる。

② 事務局提案事項について

審査会資料ペーパーレス化について

[事務局説明]

- ・市役所資料のペーパーレス化は市としても推進しているが、現在、週3回の審査会資料の配布は事務局の職員が職務の合間や、帰宅時に配達を行うなどしており、配布に苦勞している実態がある。また資料の作成には大量の紙、印刷のほか、回収にも郵送料など、予算も手間等もかかっている。三島市の介護認定審査会は既にほぼリモートで行われていることから、ペーパーレス化は有効な手段と考えられる。
- ・8・9月にある合議体でトライアルを行った。使用した委員からは概ね前向きな感想、意見をいただいている。
- ・トライアル後、市役所内で検討委員会を立ち上げデジタル戦略課と障がい福祉課の3課で今後の方針を検討した。デジタル戦略課は、全庁のペーパーレス化を推進する観点から、システムの使用と管理を担当し、タブレットはシステムを使用する課が用意することで、ペーパーレス化を始めてみることとなった。
- ・現在、デジタル戦略課が来年度予算にシステム使用料の要求を行った状況である。タブレットについては機種やサイズ、通信方法（Wi-FiかLTEか）など、検討することがいくつかある。またパソコンでの使用を望む声もあるなど、予算要求にあたり決定すべき事項があることから、来年度の要求は見送った。まずはご協力いただける委員に自前のタブレット等を使用してペーパーレス化を始めたいと考えている。委員の意見を伺い、今後の参考にしたい。

[委員]

- ・リモートでの審査会にはメリットデメリットがあり対面に戻す必要性も感

じるが、ペーパーレス化には賛成。

- ・トライアルで使用した感想として、慣れるととても便利なこと、項目修正がある場合に事前にデータが送信され、当日までに確認ができることは大きなメリットと感じた。
- ・時代の流れとして理解はするが、年齢的に機械音痴で紙に安心感がある。
- ・これらを現実的な声として、使用に関する不安へのサポートがあると安心してペーパーレス化に移行できるということではないか。

③ その他連絡事項

[事務局説明]

- ・令和6年度の委員推薦を、年内に医師会に依頼する。その後、合議体編成と日程等を決定し、3月中旬頃配布予定。
- ・令和6年度の審査会回数は140回くらいを予定している。
- ・新任の委員研修については、例年3月に開催されている。県から通知が届いたらお知らせする。